

東海北陸

Branch Report Vol.66

TOUKAI-HOKURIKU

2017 January



アウシュビッツ強制収容所ゲート (ARBEIT MACHT FRIE)



復元されたワルシャワ歴史地区



公益社団法人
日本建築積算協会・東海北陸支部

支部長あいさつ 次に来るものへの期待と不安	支部長 小野 徹郎	1
平成 29 年度支部定時総会及び懇親会開催のお知らせ		2
平成 29 年建築八団体共催新年互礼会	事業計画委員会 委員長 碓谷 将紀	3
会員委員会だより	会員委員会 委員長 中川 英人	4
講習委員会だより	講習委員会 副委員長 勝野 徹	4
設計審査委員会だより	設計審査委員会 委員長 伊藤 健蔵	5
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会 委員 西尾 洋司	5
資格制度委員会だより	資格制度委員会 委員長 林 進	6
建築積算協会に期待すること	(株)NTT ファシリティーズ東海支店 吉田 沙織	7
積算に携わって	(株)アイピーエス 積算部 山田 玲奈	7
教育委員会だより 建築積算の学校教育【その①】	教育委員会 委員長 藤曲 充信	8～13
専門学校 職藝学院の大工実践教育	専門学校 職藝学院 准教授 大丸 英博	14・15
東欧（中欧）を訪れて -歴史から学ぶもの-	支部長 小野 徹郎	16～18
地域委員会 静岡だより	(株)アイピーエス 長山 充裕	19
地域委員会 岐阜だより	地域委員会 委員長 加藤 一也	19
データベース委員会だより	データベース委員会 副委員長 岩田 清逸	20・21
ささしま 24 ライブグローバルゲート新築工事 現場見学会報告	株式会社 縁 佐藤珠美 千谷遥 杉山智紀	22・23
北陸支所だより（富山・石川・福井）	胡桃建築設計事務所 代表 胡桃 英章	24
賛助会員名簿・建築積算士補認定校		25
2017 年 謹賀新年 新年の御挨拶		26～28
株式会社 大成出版社		29
TOMO データサービス株式会社		30
編集後記		31
協栄産業株式会社		32

「次に来るものへの期待と不安」



(公社)日本建築積算協会
東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

名古屋工業大学名誉教授
工学博士

新年明けましておめでとうございます。今年
は酉年。「酉」という漢字は「酒」からきており、
「果樹が成熟して固まっていく状態」を表すそう
です。会員各位はそれぞれの状況下で頑張っ
ておられる事と思います。

昨年も国内外とも多くの出来事がありました。
個人的には、「安保法制の制定」に基づく駆けつ
け警護の任務を担った自衛隊の海外派遣が一番
気になりました。国外では国民投票による英国
のEU離脱、アメリカ大統領へのトランプ氏の選
出など、ポピュリズムの蔓延なのか理解に苦し
む局面が多くありました。当面の自国の利益を
最優先し、排他主義、孤立主義の傾向が進んで
いるようです。例えばヨーロッパが直面してい
る難民問題は、当事国やヨーロッパだけの問題
ではなく、グローバルな問題として捉えて国際
的な支援体制、解決策を考えなければならない
問題です。ヨーロッパ各国における極右勢力の
台頭、トランプ氏の発言など排他的な流れが大
きくなっています。

国内の建築関係では国立競技場問題、豊洲市場
移転問題等がマスコミを大いに賑わしました。こ
れらの問題の多くは、政治家はもちろん、官に代
表されるお役人の当事者意識の欠如と、長年我が
国の建築業界が背負ってきた慣習にも起因してい
ると思います。建築は建築学会が標榜する工学、
技術、芸術の三位一体の上に作られるものです。
社会基盤を形成し、直接私たちの生活に関わるも
のです。しかし実務的にはそれらの内容はお金と
無関係ではありません。その必要な経費は官が稼
ぐわけではありません。国民から税として徴収し
たものです。税となると関係者の多くは自分の所
属する組織の利益だけを優先し、国とか社会、あ

るいはタックスパイヤーである国民目線で物事を
考えなくなってきました。お金をかければいいとい
うものではありません。適切なコスト管理が重要
な事は当然です。さらに建築を作る上では設計・
施工・管理の3本柱が重要ですが、それらは階層
的な下請け制度で構築されています。そのため一
貫した独立の監理体制が必要です。かつては官に
もそうした実務レベルをこなす組織があり、内部
で監理可能でした。しかし技術の進展、レベルの
多様性からそうした監理体制は難しいのが現状で
す。結果的に設計者ないしは施工を受け持つ者が監
理まで受け持つのがほとんどです。こうした体制は
高い倫理感と、深い知識の下で実行されていれば本
来問題はありませんが現実違います。こうした建築
業界が抱える問題を是正するには、その要因をする
必要があります。その大きな柱がコスト問題であり、
それに正面から取り組めるのは積算業界で、積算士、
コスト管理士の本当の働き場所はそこにあります。
設計のスタートから関わり、一貫してコスト管理が
なされる必要があります。我々積算に関わるものは
このことを十分認識した上で設計・施工・管理に精
通し、それぞれにコスト意識を持ち込むと同時に、
社会全体にコスト管理の重要性を訴える必要があり
ます。豊洲問題、オリンピック施設問題も全ての根
はそこにあります。コスト管理に対する社会的認識
が高まりつつある中、支部としてもこうした認識に
立って今後の社会的な活動をしていく必要があると
痛感しています。

今年が皆様にとって飛躍の年になることを祈
念しつつ、支部としてコストに対する正しい社
会的認識が醸成されるような活動をします。会
員各位におかれましては協会、支部活動に対す
るより一層のご理解とご支援をいただきますよ
うお願いいたします。

成熟した社会の先に待ち受けているものが何
かは私にはわかりません。今が「酉」の意味す
る「果樹が成熟して固まっていく状態」だとす
るならば、私たちはその状態を維持して次世代
に伝えていく必要があります。成熟の次に来る
ものが「腐敗」であってはならないのです。

(公社) 日本建築積算協会
東海北陸支部正会員 各位

(公社) 日本建築積算協会東海北陸支部
支部長 小野 徹郎

平成29年度支部定時総会及び懇親会開催のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当支部事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記定時総会並びに懇親会を下記の通り開催予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。

お忙しいとは存じますが、出来るだけ多くの会員皆様方にご出席頂きたく早々にご案内申し上げる次第です。

謹白

記

《定時総会》

1. 日 時：平成29年4月20日（木） 17時より
2. 場 所：中日パレス
名古屋市中区栄四丁目1番1号 中日ビル5階
TEL (052) 261-8851
地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12番出口すぐ
3. 議案
第1号議案 平成28年度事業報告承認の件
第2号議案 平成28年度収支決算及び監査報告承認の件
第3号議案 平成29・30年支部役員候補者選任の件
4. 報告事項
1. 平成29年度事業計画の件
2. 平成29年度収支予算の件

《懇親会》

1. 日 時：平成29年4月20日（木） 18時より
2. ところ：中日パレス
名古屋市中区栄四丁目1番1号 中日ビル5階
TEL (052) 261-8851
地下鉄・東山線又は名城線「栄駅」下車 12番出口すぐ
3. 会 費 6,000円

平成29年 建築八団体共催新年互礼会

事業計画委員会

委員長 劔谷 将紀



平成29年1月6日 名古屋国際ホテルにて、建築八団体による「平成29年新年互礼会」が行われました。

今回の主催団体は(一社)日本建築構造技術者協会中部支社で、主催者代表挨拶にて二宮支部長から、2016年は政権が安定しており原発やオリンピックなど建築に絡む話題もあったが、熊本の震災というおおきな災害もあり、国土交通省からの南海トラフ地震対策に対応していかなければならない。また、暗い話ばかりでは無く、名古屋はリニア中央新幹線等の明るい話題もありますので、皆様の技術で建築業界を盛り上げて欲しいとのお話がありました。

来賓挨拶として、国土交通省中部地方整備局

建政部長 横山克人氏、愛知県知事 大村 秀章氏、名古屋市長 河村たかし氏にお話を頂きました。河村市長から



「Happyニューイヤー！仕事はキープできとるか？」の一声から始まり、国の財政危機はウソだ！名古屋城天守建替えをまずやらにゃ〜いかん！と、とても熱くお話しておられました。

たが、名古屋はまだまだ元気なので、是非名古屋でもっと投資をして頂きたいとのことでした。横山部長、大村知事はやはり耐震改修が最重要とのお話で、耐震改修の公共物件もまだまだ増えていくのではと感じました。

表彰者披露では、(公社)愛知



県建築事務所協会元副会長の富田 正行氏が黄綬褒章、(公社)愛知建築士会元副会長の梶川 博司氏が国土交通大臣表彰受賞として紹介されました。我が(公社)日本建築積算協会東海北陸支部からも何れはどなたかが表彰されるのではと楽しみにしています。

乾杯→小宴となり、それぞれが年始の挨拶や話で盛り上がる中、ステージでは恐らく昨年と同じ尺八・チェロ等での演奏が行われておりました。200名以上は集まったかと思われる会場で、それぞれが挨拶や食事をする中、まるで会場のBGMがごとく流れる生演奏になかなか意味を見出せなく、演奏されている方々に大変申し訳

なく思う次第でした。

また、抽選会では小野支部長の4年連続当選も期待されたのですが、残念ながら今回は当選できず、積算協会全滅でした。

予定の時間より30分早く閉会となり、閉会の辞では来年主催者側でもある(公社)日本建築積算協会東海北陸支部の小野 徹郎支部長からお言葉を頂き、散会いたしました。

会員委員会だより

「会員自身がメリットを知る」

会員委員会

委員長 中川 英人

会員委員会としての積極的な活動が出来ずに年を越すことになりそうですがそもそも会員になって頂くことを促進していくに当たってその対価性をしっかりとご理解頂かないことには会員の増強が進みません。そこでまず支部会員の皆様もいま一度日本建築積算協会ホームページの1.協会のご案内を開いていただき、入会案内→入会のメリット→「こちら」をクリックしてみてください。今まであまり知らなかったメリットが幾つか発見できると思います。その中に■**人材の鉱脈クラブのメンバーになろう** というタイトルで、“会員にはいろいろの職域の人たちが参加しており、まさに人材の鉱脈クラブです”と書かれているところがあります。鉱脈クラブという言葉を知っている方もありますが、好きなことを1万時間（1日8時間を5年）真剣に取り組めばその分野での一流のプロになることが十分に可能で、どの分野でも1万時間を費やして造詣を深めるということは、地下に流れる鉱脈を掘り当てるようなもので、どんどん深く掘っていくと鉱脈に行き当たるのです。この1万時間をかけて掘り下げたことを鉱脈クラブに入ると表現しているそうです。

会員になることで鉱脈クラブの一員となり、貴重な人的ネットワーク（人脈）を形成することができ、この人脈は年齢を重ねるとともに重要になり、さらには社外の人脈があればあるほどいい仕事ができる、とも書かれています。このことを実感されている方も多いと思いますし、私自身も人脈によってコスト関連業務の幅が広がりました。協会認定資格を保持されていても積算協会に所属されない方が数多くおられますので、まず会員自身が会員であるメリットをよく知り、職場の同僚、得意先の関係者の方々にも入会案内の推進をして頂き、一人が一人の会員増をお願いしたいと思います。宜しく願い致します。

講習委員会だより

講習委員会

副委員長 勝野 徹

こんにちは！講習委員の勝野です。

【愛知県技術者講習会開催について】

10月13日（木）に愛知県建設部主催の「技術研修」に講師として参加しました。「監督員の立場」、「建築工事の監理」、「施工事例（学校）」、「施工事例（公営住宅）」の次の「建築積算」の担当でした。参加者は愛知県の企画課・住宅課等、名古屋市住宅都市局等、各市・町の各課の若手の方々です。

【技術者講習会内容】

「建築積算」講習の内容は、「1.積算とはなんぞや&積算（見積）の重要性」「2.成果物の見方と演習を少々」「3.発注者として知っていただきたい事（・積算の日程管理、・チェック、・コストコントロール）」という内容でパワーポイントと数量基準のペーパーを使って説明しました。

【技術研修のアンケート結果】

積算について、「基礎的な知識・実情を少し身に着けることが出来たと」いう意見と「コンクリート・型枠・鉄筋の拾い方をもっと知りたかった」というアンケート結果がありました。

【講習会のあり方、拾いの Learning software】

1時間30分のなかで、積算スキルの違う人たちについて、全て満足を得られる講習はできないと思います。・・・が「コンクリート・型枠・鉄筋の拾い方を知りたかった」ということについては、拾い方の説明が簡単にできる学習ソフトを作ることが出来ないかと思いました。・・・そのためには**立体化・ビジュアル化が必要だ**と思います。積算ソフト会社等とタイアップして、現拾いシステムのアレンジで**ビジュアル化出来る**と思います。また、完成すれば学校教育、積算士2次試験学習、ゼネコン・積算事務所の若手教育等、需要は多いと思われます。是非、「**立体化・ビジュアル化した Learning software**」を実現したいと思います。

設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員長 伊藤 健蔵

昨年の設計審査は、2月の1件にとどまりアピール不足認知度不足を痛感しております。そこで当協会本部評価評定委員会では第三者評定事業を幅広く知っていただけるようホームページを刷新し、活動内容の周知に努めています。是非ご覧になっていただきたいと思います。

昨年は、オリンピック施設予算や豊洲市場建設に伴う問題など施設に関するニュースが多くあり、まだまだ今年も続きそうです。オリンピック予算に関しては2兆、3兆? “超” ザックリ。豊洲市場建設については土壤汚染の問題に関してはかなりマスコミに取り上げられましたが、整備費についても約5900億円と11年2月の予算から1.5倍に膨らみました。建設費が膨らむ間に幾度となく積算業務は携わっているはずなのに、わが国唯一の建築積算技術者のプロフェッション団体、歴史ある公益社団法人日本建築積算協会は、こういった問題が起きた時に名前すら出てこないのが現状であり残念に思います。

様々な専門家がマスコミで取り上げられますが、建築コスト専門家としてこの要因を説明出来る公の機会があれば、アピールという点では知名度も上がり会員増強、資格者増に繋がるのではないのでしょうか。

当協会では、将来を見据え建築積算士補なる資格を設け学校教育での積算技術の普及に取り組んでいます。知名度の点ではまだまだ低くこれからは積算の分離発注等、官庁とタッグを組んだ資格者活用の仕組みをつくる活動が重要と考えます。

建築コスト管理システム研究所発行による公共建築工事積算基準の解説の総説で建築積算の歴史という一節がありました。その中で近代積算の先駆となった久恒治助が大正10年に自著で建築設計を大別すると計画(図面)と積算(予算)に大別され、図面以外の「仕様及び積算は(中略)内助的にして興味少なく相当の労力を要するに比して功績顕著ならざるは蓋し(まさしくの意味)その振興せざる(発展しない)主因なり」と云わしめているところに今でもあてはまってしまうところが現実です。(ぜひご一読)

読者の皆様の中でこんなPRをすると良いのではと名案のある方は当協会へご一報くだされば幸いです。

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会

委員 西村 洋司

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

2016年を振り返ると例年になく、様々な出来事が起きた1年だったと思います。リオオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の大活躍やアメリカ大統領選挙でのトランプ氏の下馬評を覆す逆転勝利、建設業においては東日本大震災の復旧工事に於ける残念な出来事もありました。

その中でも一番大きな出来事が、4月に起きた熊本地震だったと思います。

津波は無く、東日本大震災クラスの大参事には至りませんでした。まだ地震で被害があったままで手付かずの箇所が多数あるようです。積算業務に携わる人間として、東日本大震災の時もそうでしたが、積算をより早く、より正確に作業をする事で、少しでも復興に役に立てたらと思っています。

私が子供の時から、南海トラフ地震(東海地震)がいつ発生してもおかしくないと言われ、何十年も経っていますが、東海地方を避けるように、阪神、新潟、東日本、熊本と大地震が発生しています。実際に南海トラフ地震がいつ頃、どのくらいの規模になってしまうのかはわかりませんが、東海地方の人は何十年も地震が来る来ると言われているのに地震が来ない為、逆に備えが疎かになっている家庭も多いと思います。私も実際そうです。予想では死者が最悪で何十万人と予測も出ています。ハザードマップや防災用品等を確認し、日頃から地震への備えを再度見直していかないとはいけません。

ホームページ委員会では、ホームページの内容を随時更新していますので、機会がありましたら、ホームページを閲覧して頂けたらと思います。ホームページへ掲載したい事がありましたら、協会へ問合せ頂きたいと思っています。

資格制度委員会だより

資格制度委員会
委員長 林 進

新年あけましておめでとうございます。平成28年度の建築積算士一次試験・建築コスト管理士試験・建築積算士更新講習が実施されました。

□建築積算士一次試験

名古屋会場 10月23日 中日ビル

受験者 44名 合格者 24名

□建築コスト管理士試験

名古屋会場 10月23日 昭和ビル

受験者 7名 合格者 7名

金沢会場 10月23日 勤労福祉文化会館

受験者 2名 合格者 1名

□建築積算士更新講習

インターネット・Eラーニング

受講者 133名

DVD・Eラーニング

受講者 31名

会場受講DVD・Eラーニング

名古屋会場 受講者 3名

建築積算士一次試験の合格率は55%、全国の合格者166名、合格率60%となっております。建築コスト管理士試験は89%、全国の合格者133名、合格率82%でした。

■建築積算士二次試験 実施予定

名古屋会場 1月22日 昭和ビル

受験者 86名

金沢会場 1月22日 勤労福祉文化会館

受験者 8名

平成24年度に建築コスト管理士資格を取得された方は平成29年3月までにCPD年間単位数16単位、5年間で80単位が必要となります。下記の単位取得例をご参照の上、規定単位数を取得されますようご案内申し上げます。

1 参加学習型

A 現場見学会への参加 1時間：1単位

2 自己学習型

A 協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習 1時間/記事

1時間：1単位
年間上限単位数10単位

B その他団体等の会誌・機関紙の購読

1時間/記事

1時間：1単位

年間上限単位数4単位

C 専門図書による自己研修 2時間/冊

1時間：1単位

年間上限単位数12単位

協会ホームページの別表 B S I J - C P D の分類と単位をご参照下さい。

建築積算士取得後20年を超える方、1級建築士取得後25年を超える方は年間6単位、5年間30単位緩和する措置が可能です。取得単位数は5年間で50単位となります。

2月下旬ごろCPD単位取得説明会を開催致します。詳しくは支部事務局まで問い合わせ下さい。

建築積算協会に期待すること



(株)NTT ファシリティーズ
東海支店
吉田 沙織

入社後、コスト・監理部門、営業部等を経て、平成26年7月より現在の東海支店勤務となりコスト・工事監理関連の業務をしています。

学生の時には積算について学ぶ機会はほとんどなく初心者同然だったため、入社してすぐに建築積算協会関東支部主催の積算学校に約半年通い、積算の基礎から学ばせていただきました。

実務ではなかなか躯体・仕上・鉄骨など全てを網羅するような業務に携わることは少なく、積算学校は非常に有意義で貴重な経験となりました。

現在は模様替工事等の予算計画の作成、工事費用の査定業務等を行っています。

◆建築積算協会に期待すること

東京オリンピックや豊洲新市場など建設コストの適正化について世間の注目は高まっているように感じます。今後、より一層建設コストの妥当性・透明性が求められることになった際に、第三者的な立場で評価できる機関として、建築積算協会の役割が重要になるのではないのでしょうか。

将来的にますますコスト管理士ならびに建築積算協会の立場・評価が高まることに期待します。

また、毎年新入社員が入ってきますが、実務を交えつつ積算を基礎から学ぶのには限界があると感じています。現在、積算学校は関東での開催のみですが、今後全国的に同様な教育の場があれば、若い積算技術者がもっと増えるのではないかと思います。

◆最後に

積算業界に限らず、建設業界全体がまだまだ男性主体であると日々感じています。男女関係なく活躍できる場が増えていくことを期待しています。私も様々な業務を経験し、建築技術者としてさらなるスキルアップに努めていきたいと思っています。

積算業務に携わって



株式会社アイピーエス
積算部 山田 玲菜

私は高校3年生の時、学校の授業で積算という仕事があることを知りました。小さい頃から図面を見たり、建設現場を見たりする機会があり、いつか私も建設業に携わりたいと夢みていました。計算することが好きだった私は、自分が好きなことで建設業に携われると思い、積算という仕事をしてみたいと思いました。

実際に積算をするようになり、積算の難しさと楽しさを感じました。高校3年間建築について学んでいましたが、図面の読み取り方や施工方法等、知識不足が多くあると感じました。また、図面に記載の無い項目を読み取れなかった事も多くあり、分からない事ばかりでした。上司や先輩方に1つ1つ教えて頂いて、自分の頭の中で形が出来上がると、達成感がありとても楽しいです。教えて頂いたことをしっかりまとめ、自分の知識を増やしていきたいです。

内装関連の担当をしていて、一般的な部屋の積算は自信が持てるようになってきました。特殊な部屋はほとんど積算したことが無く、積算をするとき不安になります。頭の中で部屋を想像できず、先輩に何度も質問をしていました。任せて頂けるように、普段の生活の中でも周りを見渡し、しっかりと知識を増やしていきたいです。

まだ分からない事が多く、間違えたり忘れてしまったりすることがあります。いつも、分からない事があれば、上司や先輩方に質問をすることを心掛けたいと思います。いつか、まとめ役をさせてもらえるようになったときに困らないように、後輩に教えられるように、少しずつでも成長して、1人前になれるよう努力していきたいです。

教育委員会だより

建築積算の学校教育【その①】

教育委員会
委員長 藤曲 充信

寒さも本番を迎え、目覚めも悪くどうしても始動するまでに時間がかかってしまい、日々反省するばかりの今日この頃です。皆さんはどうお過ごしでしょうか。

新年を迎え、新たな目標を定めそれを達成するには、先ず健全な心（精神力）、技（技術・技能）・体（体力）を安定させることかと思えます。建築積算はスポーツと似た感がありますが、仕事を更なる段階へ進ませる為には、心技体はどうしても欠かせません。共に目標に向かって頑張りましょう。

教育委員会の平成 28・29 年度の事業計画は

- (1) 新規講座開設校の開拓
 - (2) 建築積算士補資格登録の促進
 - (3) テキスト・試験問題の改善
 - (4) 講師交流会による学校との連携強化
- の 4 項目となります。

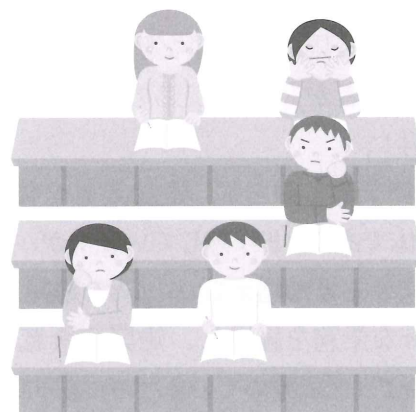
一つ目の新規講座開設校は、相山女学園大学・岐阜国際たくみアカデミー短期大学校・東海工業専門学校（金山校：大工・建築工学 3 学年、熱田校：2 学年）名古屋市立工芸高校・静岡県立浜松工業高校の 5 校・7 学部・5 学年が建築積算授業と試験を実施済みまたは 2 月に実施予定です。その他の 4 校に於いては、受験希望者が無い事や講師の切替え時期に伴い内容の見直しなどで来年度に向け調整中です。建築積算士補試験実施校の結果は、受験者 330 人中 合格者 277 人 \approx 84% の合格率でした。若干、合格率の低い学校が見られますので、生徒の意欲や資格の必要性を補助したいと思います。これから受験される学生の皆さん、資格を取ること

が最優先かと思いますが、建築を目指す者同士として建築積算の重要性と必要性を認識され、数量・金額を含めた建築コストを何故当協会が東海北陸だけでなく全国の学校に建築積算と資格取得に向け、強力に推進しているかの意味と人材育成活動にご理解をいただき、授業を通じて知識と技術を習得され、建築積算士補に合格し、建築積算士の仲間入りを期待しています。

二つ目の建築積算士補資格登録の促進は、平成 27 年度全国平均で 57%、東海北陸は 46% と全国平均を大きく下回ります。授業などで資格の必要性と重要性を教員や講師の皆様のご協力を得ながら、学生に向け広報活動を実施してまいります。

三つ目のテキスト・試験問題の改善は、協会本部の建築積算士補評議委員会に於いて、全国各地で実施された建築積算士補試験の採点結果を踏まえ、試験問題の難易度（正答率）や不整合点など継続的に検証・改善を実施中です。

四つ目の講師交流会による学校との連携強化は、昨年 10 月に実施致しました『在学中の資格取得と建築知識習得の建築積算授業に於いて』のアンケート調査について触れたいと思います。



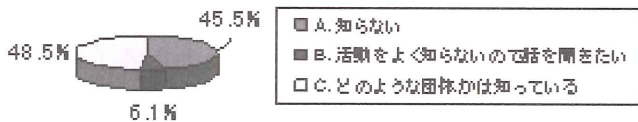
東海北陸地区のアンケート結果

東海北陸地区7県85校に配布し、最終的に34校の皆様方より貴重なご回答をいただき、約40%の回答率と期待以上の関心度でした。内訳は、愛知県14校、岐阜県7校、三重県1校、静岡県5校、富山県2校、石川県5校、で、学校別では大学8校、工業高校19校、専門学校6校、職業訓練校1校となります。

質問12項目とご意見の13項目構成は下記の通りです。

質問1 公益社団法人 日本建築積算協会についてご存知ですか。

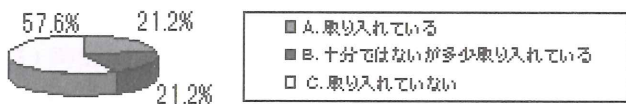
- A. 知らない B. 活動をよく知らないので話を聞きたい
 - C. どのような団体かは知っている
- A -15校、B -2校、C -16校



A：知らない、B：活動は良く知らないで、過半数以上の52%を占め、当協会の告知活動が不足している。

質問2 講義(授業)題材の中で建築積算を取り入れていますか。

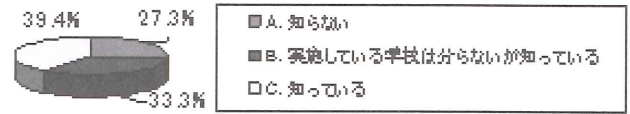
- A. 取り入れている B. 十分ではないが多少取り入れている
 - C. 取り入れていない
- A -7校、B -7校、C -19校



建築積算を講義課題に取り入れているかは、過半数以上の58%が未実施であり、実施校は42%に留まる。当協会の告知活動が不足している。

質問3 建築積算の授業を取り入れている大学などがあることをご存知ですか。

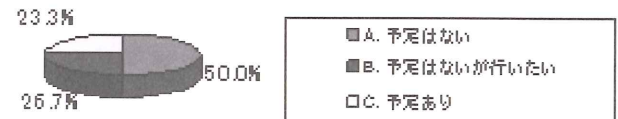
- A. 知らない B. 実施している学校は分らないが知っている
 - C. 知っている
- A -9校、B -11校、C -13校



建築積算授業の実施校を知っているかは、B：学校名は知らない、C：知っているで、73%を占め学校間の情報が共有化(情報交換)されていることが見受けられる。また、更なる拡大に向けての告知活動を実施することが可能と思われる。

質問4 建築積算を授業に取り入れる予定はありますか。

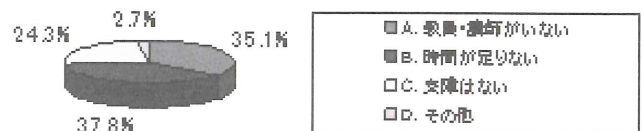
- A. 予定はない B. 予定はないが行いたい
 - C. 予定あり
- A -15校、B -8校、C -7校、未回答3校



A：予定がない50%ですが、C：予定あり23%、B：予定はないが行いたいという希望的な意見が27%あり、積算の重要性と必要性を認識されている学校が過半数を占めていることは、当協会としても先が明るく大変有難いことである。

質問5 建築積算を授業に取り入れる上で支障はありますか。

- A. 教員・講師がいない B. 時間が足りない
 - C. 支障はない D. その他()
- A -13校、B -14校、C -9校、D -1校、未回答2校 (複数回答校有)



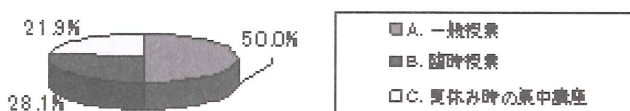
建築積算授業を取入れる上での支障については、A：教員・講師不足、B：時間不足が73%を占めている。A：教員・講師がいない(不足)

は、当協会による教員・講師向けの養成講座を実施することで解消され、B:時間が足りないは、臨時授業や夏季集中講座などを検討することで対応が可能と思われる。

質問 6 建築積算を授業に取り入れた場合どのような形態になると思われますか。

A. 一般授業 B. 臨時授業 C. 夏休み時の集中講座

A -16校、B -9校、C -7校、未回答2校
(複数回答校有)



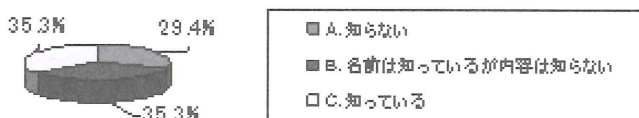
新たな講義を増やさず一般授業内にて対応したいAが約半数を占めた。反面、臨時授業や夏季集中講座も半数を占め資格取得への熱意が感じられる。

当協会としても新たな講座手法を提案すべきである。

質問 7 在学中に取得できる建築積算士補・建築積算士の資格をご存知ですか。

A. 知らない B. 名前は知っているが内容は知らない C. 知っている

A -10校、B -12校、C -12校 (複数回答校有)



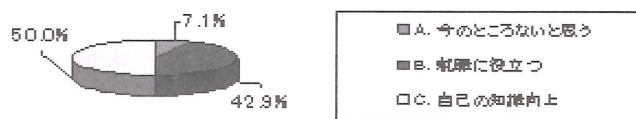
在学中の建築専門資格（建築積算士補・建築積算士）の存在については、B:内容は知らないが知っている、C:知っているで、71%を占め学生の知識向上と就職活動の有利性を認識されている。

質問 8 建築積算士補・建築積算士資格のメリットは何だと思われますか。

(No.6でCの回答の方のみ)

A. 今のところないと思う B. 就職に役立つ
C. 自己の知識向上

A -1校、B -6校、C -7校 未回答19校
(質問6でCの回答の方のみでしたがNo.7の間違いでした)

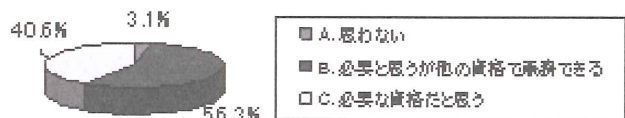


建築積算士補・建築積算士の資格のメリットは何かについては、B:就職に役に立つ、C:自己知識向上で93%を占めている。自己の知識向上と就職活動のツールとして認識されている。

質問 9 建築積算士は建築生産において必要と思われるですか。

A. 思わない B. 必要と思うが他の資格で兼務できる C. 必要な資格だと思う

A -1校、B -18校、C -13校 未回答1校

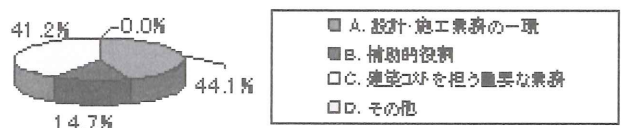


BとCの必要な資格と思うので、94%と建築生産活動には必要不可欠と理解されている。当協会として活動機会を今まで以上に増やし、学校や業界への必要不可欠な資格を改めて周知したい。

質問 10 建築関連職種の中で建築積算業務のイメージはどれですか。

A. 設計・施工業務の一環 B. 補助的役割(縁の下)の力持ち C. 建築コストを担う重要な業務 D. その他

A -15校、B -5校、C -14校 (複数回答校有)



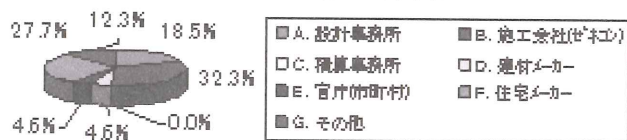
建築積算業務のイメージについては、B:補助的役(縁の下)の力持ちが15%と、従来の

「縁の下の力持ち」から脱却した感があり、当協会の活動が一定の評価された結果となっている。只、A：設計・施工業務の一環が依然と多く、またC：建築コストを担う重要な業務として、建築積算関係者の地位向上の為に、協会として官庁・業界団体への告知活動と業務の重要性を説く必要がある。

質問 11 建築関連学科卒業生で就職希望職種が多いのはどれですか。(複数回答可)

- A. 設計事務所 B. 施工会社(ゼネコン) C. 積算事務所(パンフレットご参照下さい) D. 建材メーカー E. 官庁(市町村) F. 住宅メーカー G. その他

A -12校、B -21校、C -0校、D -3校、E -3校、F -18校、G -8校 複数回答項目



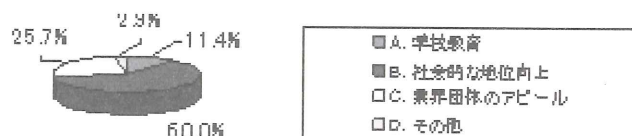
就職希望職種については、積算事務所が学校に対しての求人要請を全校に出していないのか？

それとも、就職希望が無いのかまたは職種として知らないのか？就職活動への広報活動の不足と思われる。反面、Aの設計事務所、Bの施工会社で58%と従来通りの傾向である。また、ハウスメーカーが32%と人気職種であることも意外であった。

質問 12 今後、学生の建築積算の資格取得や職業選択が増加するには何が必要と思われますか。

- A. 学校教育 B. 社会的な地位向上 C. 業界団体のアピール D. その他 ()

A -4校、B -21校、C -9校、D -1校 複数回答校有



建築積算の資格取得や就業選択増加するためには、従来通りBの社会的な地位向上とCの業界団体のアピールが不可欠である。

当協会も活動方法を見直す良い時期と思われる。

質問 13 建築積算についての教育、資格及び職能に対してのご意見。 については、20校の先生方からコメントをいただきましたのでご紹介致します。

①私学では、コマを増やすのは、国の指導でもない限り難しいのが現状です。施工や法規も1コマずつしかなく、不足しています。

それから積算という、失礼ではありますが、地味で、大変な仕事というイメージがあります。

②設計や施工の内容を十分理解できていない学生の段階で積算の教育は難しいと思います。

③本校においては、3年生の選択施工(2単位)の授業で、鉄筋の積算という内容で行っています。生徒の多くが職人的な仕事に就職する様になり、ゼネコンに入社する生徒が1~2名というのが現状です。積算会社からの求人は、全くありません。教える側も実務経験がほとんどなく教員になるケースが多く、実務的な知識を必要とする積算を教えられる教員もほとんどいません。

教員の資格取得に対する意欲も、毎日の雑務に追われて低下しています。とりあえず、教員対象の積算士補講習が必要だと思います。

④認知度が低いと思う。本校ではその職種での求人もないので、生徒に示すことができない。

⑤高校では積算関係職の求人が全くありませんので、特に資格取得に取組めない。合格の申請料が高く、施工技術者試験に力を入れている。

⑥資格がどのような仕事につながるのかのイメージが伝わりにくい。具体的な事例(積算

士の仕事や現場監督でのコストイメージ)を教えてほしい。

また、資格の更新についても検討してほしい。(使う時に更新できる・・・みたいなもの)

- ⑦ 2級建築士を目指す学科で実施しているが、積算士補の積算士受験における免除が、2級建築士と同じため、どうしてもモチベーションが上がらない。このことを踏まえ、2年前から、2級建築士を受験しない学科で、実施している。登録金について、在学中の学生の支払いを延期できないでしょうか？又は、登録期限を就労後まで延ばしていただくと登録しやすいと思います。
- ⑧ 大変重要な勉強だと思えます。なぜなら結局、建物は予算が一番大切だと思うからです。ただ、どうやって、どれだけ教えれば良いのか、あまり、わからないのが現状です。
- ⑨ 資格と業界、業務の結び付きが反映されていないことが残念である。積算学を学ぶことは、建築学において大変重要と考えている。
- ⑩ 知識の修得は必要だと考えるが、資格の必要性については何ともいえないと考えている。
- ⑪ 資格については文科省認定などの価値が大切になってくるため、どうしても建築士や施工管理技士の資格が優先されてしまうと思います。
- ⑫ 施工の教科書の一部に上げられているが今のところその部分まで進めていけないのが現状です。(実教出版) 建築施工
- ⑬ 今まで、資格の名称を知っている程度でした。また、他校では講習を実施していることなどは聞いており大変興味を持っておりました。今回はご案内頂き有難うございました。
- ⑭ 工業高校を希望する中学生に質問紙調査を行ったところ、TVなどのメディアを通して建築に興味を持ち建築科への希望をする者が多かった。つまり、建築工や大工を希望して入学する者が多い。したがって、積算に関するメディアを使ったPRが必要であると感じ

る。

- ⑮ 拾い書へのまとめ方について講義してもらっています。私たち教員では指導できない実務的な内容で助かっています。
- ⑯ 設計や施工に比べて、積算の楽しさややりがいを生徒に伝えるのは大変難しいと感じています。計算に苦手意識を持つ生徒も多いのでまずは業務のやりがいを伝えることが大切かと思われまます。
- ⑰ 現在は授業を新たに取り入れる考えはなく、臨時の時間に積算の仕事のやりがいについて話していただく程度で行っています。
- ⑱ 建築全般・設計・施工などの知識が有ったうえで、習得出来る事だと思われる為カリキュラム編成や時間の関係上、後まわしになってしまう項目だと思われる。
- ⑲ 必要な資格であると思えますが、学生に夢を語るための道具にはなかなか得ません。BIMの連携業務として面白いと思えますが、デザインをまず考える学生にはその魅力が伝えられません。
- ⑳ 色々な資格が有るが、受験料やテキスト代、交通費等を考えると、なかなか取り入れることが出来ない。学校の授業で対応できるのは、施工管理検定までなのかと考えてしまう。設計事務所で官庁の仕事は、設計見積は必ず業務の中にありまた、建設会社では日頃の業務の中で積算は必ず必要であり、当校では2単位(30時間)ではあるが授業として行っている。

以上、質問13項目に対する回答内容です。

このアンケート調査実施に際し、日本建築積算協会が学校関係者の皆様にどの程度認知され、建築積算の必要性と重要性をご理解されているか、また建築積算授業がどの位実施されているのかが明確に理解出来ました。この貴重な調査結果を踏まえ、今後の活動方針を絞り込みました。

- ①質問1の当協会認知度向上と質問2の積算授業への取組みは、告知活動の不足が見られ、活動手法を改善する必要があると思います。従いまして、来年度中に教員関係者の皆様と講師交流会を開催する方向で検討致します。
- ②質問5の教員・講師の不足は、質問13のご意見にもありましたが、当協会として講師養成講座を開校する方向で結論付けました。また、授業時間が足りない部分は、臨時授業や夏季集中講座の実施を考えております。
- ③質問4の建築積算を授業に取入れる予定はありますかのB：行いたい、8校とCの予定はあるが、質問5のA：講師がいない、1校の計9校へ、学校に訪問する事で問題解消を図りたいと考えます。また、その他の学校については、来年度に訪問の計画を行い、建築積算の重要性や遣り甲斐と資格の必要性について説明をさせて頂きたいと考えております。
- ④質問7、8、9の建築積算資格の認識度・メリット・必要性は、学校関連者の皆様にご理解と必要性、更には有利性をご理解されていると察しますが、更に必要性が高まるようPRを

実施します。

- ⑤質問10の建築積算業務のイメージは、AとBで85%を占め、「縁の下の力持ち」から脱却した感があります。今後はA：設計・施工業務の一環からC：建築コストを担う重要な業務を増やす為、官庁・業界団体への活動と業務の重要性を説き、建築コスト業務の拡大に向け今まで以上に力を注ぐ様にしたいと考えます。
- ⑥質問11、12の就職希望職種の求人要望企業に於いて、建築積算事務所からの広報活動が非常に少ない事が分かりました。積極的なインターシップの受入れ企業の紹介と、学校へ求人要望の企業登録を促進してまいります。

上記の通り、皆様方からのご意見を集約して、6項目の活動方針を軸に、学校教育と積算協会の発展に向け、微力ですが、教育委員の皆様と供に頑張る所存です。

今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

追申：今年度末（2月 or 3月）には先生方をお招きし、講師交流会を東海北陸支部として企画しており、昨年12月中旬で13校17名ほどの参加者が出席予定です。教育方針や人材育成など、先生方と本音で話し合いアンケートと交流会の貴重なご意見・ご要望を、今後の活動に繋げたいと思います。この貴重なご意見・ご要望は支部だけに留まらず、本部や各支部も巻き込みながら活動して参る所存です。



専門学校 職藝学院の大工実践教育

職と藝を結ぶ教育をめざして



専門学校 職藝学院
准教授 大丸 英博

1. はじめに

職と藝を結ぶ《職藝》を建学の理念とし、新しい時代の大工と庭師という手仕事によるものづくり職人育成の専門学校職藝学院（秦正徳学院長・稲葉實学校法人理事長）が平成8年（1996）創設された。立山連峰の雄大な自然景観に包まれた富山県富山市東黒牧台地に位置し、北は北海道から南は沖縄までの全国から学生が集い、開学以来20年で800余名の大工と庭師の卵達が巣立ち、各地で活躍している。

2. 職藝学院の概要

(1) 建学の理念

《職藝》とは、伝統によって培われてきた職人の技を意味する“職”と、用の美とその芸術性を追及する職人の心を意味する“藝”とを結んで生まれた新しい用語で、この《職藝》を建学の理念に掲げ、日本の伝統技術を継承しつつ、21世紀にふさわしい建物づくり・環境づくりに携わる新しい専門家《職藝人》の育成をめざしている。

(2) 学科の構成

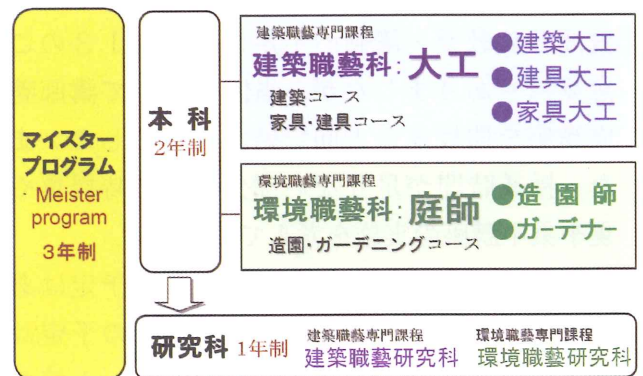
“庭づくりがわかる大工” “家づくりがわかる庭師”をめざし、基礎基本重視の実践教育を行っている。『建築職藝専門課程』＝[本科]建築職藝科・[研究科]には、建築、建具・家具の大工2コースがあり、大工道具の扱い方や無垢の木材による木組みを中心に木造軸組伝統構法を学ぶ。

『環境職藝専門課程』＝[本科]環境職藝科・[研究科]は、造園師・ガーデナーという庭師の1コースで、生きた花卉・樹木や自然石などの自然素材の扱い方を中心に日本の伝統造園技法などを

学ぶ。

[本科]と[研究科]を一体的に連結した『3年制マイスタープログラム』では、より効果的に大工と庭師の“職藝人力”を高める教育を実践している。

<学科構成>



3. 職藝人の教育

授業は年間200日余、科目授業（単位制）と特別授業の全科目必修としている。科目授業（2,400時間111単位）は、職藝基礎系、職藝専門系（建築・環境の共通専門領域）、建築（環境）専門系、建築（環境）工房実習系の4つの系で編成している。建築専門系では、「建築史」、「建築計画」、「建築法規」、「建築構造力学」、「建築構法材料」、「建築施工」、「規矩術」、「建築設計製図」などを行い、「建築施工」の中で「建築仕様積算」（木工事を中心とした積算法を、課題演習を交えて学ぶ）を実施している。時間配分は実習教育を重視し、講義20%・演習20%・実習60%としている。

(1) 実習中心に技能と専門知識を学ぶ

建築職藝科は、1年次の実習（建築総合基礎実習等）では、大工道具の扱いと技能の基本を、2年次の応用実習では、「実物教材」（実際の建物づくりや庭づくり実習）を用いて、専門知識と併せて実践的に学ぶ。



鑿研ぎ（建築総合基礎実習）

また、今や次第に簡略化されつつある職人儀式も、年始の「職藝仕事始儀」、年末の「職藝道具納儀」や「上棟式」など、実物教材の実践に併せて、学生の手で古式に則り授業として行う。



職藝仕事始儀（1月）

職藝道具納儀（12月）

（2）伝統技術を基礎基本として学ぶ

風景の尊重、持続的建築づくりなどの哲学を含む、日本民家づくりの伝統構法の技を学ぶ。低環境負荷で健康的な地域の自然素材の使用（無垢木材・土壁など）、長持ち思想の伝統構法の実践（太い木柄・総持ち・単純明解な木組み・深い軒の出・伝統的仕口継手・保守容易性など）、古材の再利用などを総合的に学ぶ。

（3）「実物教材」による実践実習と地域貢献

一般から提供される「実物教材」（実際の建具・家具を含む建物づくりや庭づくり）を、教育効果や地域貢献等を考慮し、現役のプロの指導のもと、学生の手による施工・製作が行われる。学生達は、緊張感の中で様々な実物教材に取り組みながら、伝統技能に留まらず多様な技や業を学ぶ。これまで、木造の新築・解体・再生、文化財の保存修復、用途は住宅・古民家、ギャ

ラリー、多目的ホール、厚生施設、神社・寺院、茶室・門・塀、土蔵・収蔵庫・車庫・物置等の実物教材を実施してきた。



開ヶ丘キャンパス施設（交流学习施設）建方実習〔富山市〕。地域から提供の「実物教材」をプロの指導で施工。

また、古材の再利用などを通じ、地球資源の大切さや環境問題などを五感で学ぶ。地域のコミュニティ施設や文化財、そしてまち並み整備などへの取組みは地域貢献へと連なっている。

（4）環境と建築をトータルに学ぶ

建築と環境の合科授業で、大工と庭師の基礎的共通専門科目を互いに学びあい、“庭づくりがわかる大工”、“建築づくりがわかる庭師”を目指す。

特色ある授業には、「合科ワークショップ」（合科チームによる実物課題〔設計製図・模型製作〕の競作）、「実践道場」（育林から製材等までを現場体験する“川上川下実習”、合掌造り屋根の茅葺き替えを体験する“世界遺産実習”）等を設けている。



実践道場：川上川下実習（育林現場）

合科ワークショップ

東欧(中欧)を訪れて 一歴史から学ぶもの一

(公社)日本建築積算協会東海北陸支部支部長

小野徹郎(名古屋工業大学名誉教授・工学博士)

昨年初めて東欧の国、ポーランドとチェコスロバキヤに行き4都市を訪れました。東欧という言葉はこれらの国では敬遠されており中欧と呼んでほしいとのことでした。東欧と称されることに嫌悪感を抱くには、この国の現代につながる歴史にあるようです。



1. 車窓からのポーランド風景

ポーランドの国名はポーランド語「ポルスカ(Polska)」の「野原」を意味するものから来ています。国土のほとんどが北ヨーロッパ平野に属し、南部に少し山岳地帯があるだけの緩やかな丘陵地帯で構成されています。列車からの景観もそのことがはっきりと見て取れました。東北部は広葉樹が茂る「ビャウオヴィエンジャの森」と称される平原が広がり、ヨーロッパバイソン、ヘラジカなどの大型野生動物が生息します。各都市でこのヘラジカに関するお土産が多数見られました。ユダヤ民族に寛容な施策をひいていたポーランドは、16～17世紀にはヨーロッパ第二の巨大な国土を有していました。18世紀に入り最初のポーランド分割が始まり、1795年にはポーランド国家は消滅し地図上から国名がなくなります。さらにそうした外国支配の中で「反ポーランド主義運動」がヨーロッパに形成されてさらに屈辱的な時代を迎えるのです。その後、第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て現代に至っています。その間にも

ナチによる支配と破壊、ソ連による実質的な衛星国としての暗い悲惨な時代が続きます。

そんなポーランドで最初に訪れたのは首都ワルシャワでした。中央駅近くの宿の目の前にはソ連支配下に建てられた文化科学宮殿の建物がその威容



2. ワルシャワ文化科学宮殿
(スターリンからの贈り物)

を誇っていました。この建物はワルシャワ市民にとって最も嫌いな建物と言われており、共産党政権下での市民とソ連との関係が見て取れます。ワルシャワ歴史地区はナチ時代に完全に灰燼に帰した街です。街区の入り口ではその破壊状況の写真を見ることができます。今はその後の市民活動により当時の街並みを建物のひび割れ、汚れまで忠実に復元し、美しい姿を見せています。そこにはポーランドの人たちの祖国への愛と誇りが感じられます。その復興事業の取り組みをも含めて1980年世界遺産に登録されています。

次に訪れたのはワルシャワから列車で4時間半ほどのところのジェローナ・グーラです。ワルシャワ中央駅では危うく列車に乗り遅れるところでしたが、まさに間一髪乗車でき、ユーロスチールの国際会議に出席できました。この街はドイツ軍の爆撃もなく



3. 復元されたワルシャワ歴史地区と第2次世界大戦の破壊を伝える掲示

古い街並みそのまま残っており、ポーランドの田舎町としてのゆったりとした雰囲気の時が流れていました。ここで入ったポーランド料理の店も木造でアットホームな雰囲気があり、田舎料理に大いに満足しました。

次は自分としてはこの旅行のハイライトとしていたポーランド南部の旧首都クラクフへ入りました。6時間半の列車の長旅でしたが、ポーランドの丘陵の景観を眺められました。途中激しい雷雨にも遭い、その後の美しい虹を見ながら飽くことなくクラクフに到着しました。クラクフはワルシャワに首都が移されるまで600年近く首都であったところです。第2次世界大戦の折、ドイツ軍の司令部が置かれていましたが連合軍はこの古都を破壊すべきでないと判断し、奇跡的に破壊を免れました。日本の京都のような存在で、今は多くの国内外の観光客で賑わっています。あの「シンドラーの工場」もこの町にあります。クラクフからバスで1時間半のところにアウシュビッツ強

制収容所があります。ここを訪問するのは長年の念願でした。ここアウシュビッツはナチス・ドイツの最大の強制収容所であり、百数十万人の人達が虐殺された場所であることは誰も知るところです。入り口には「ARBEIT MACHT FREI」(働けば自由にな



4. アウシュビッツ強制収容所ゲート (ARBEIT MACHT FREI)

れる)の標語が見られ、思わず涙してしまいました。近くのビルケナウ収容所も含めて当時のまま残されており、人類が二度と繰り返してはならない「負の遺産」として1979年世界遺産に登録されました。そこで目にしたものは想像を絶する行為でした。人はその置かれた状況によっては、罪もない人間に対してこうも残虐な行為をなし得ることに改めて驚愕しました。



5. ビルケナウ強制収容所の 鉄路と監視塔

しかもナチの一方独裁下でそれらを実行したのは、ハンナ・アーレントが言う様にごく普通の人でした。こうした歴史に人は本当に学んでいるのでしょうか。21世紀に来るものは、再び排他主義であり、自らの国の利益を最優先し、自国の尊厳?をベースにした一方独裁の新たな帝国主義なののでしょうか。我が国

の安保法制、秘密保護法の整備などを見ると、平和ボケなのか、戦争の醜さ、愚かささを認識できなくなっているように思えます。改めて一つの理想像を基本とした我が国の平和憲法の価値を噛み締めました。

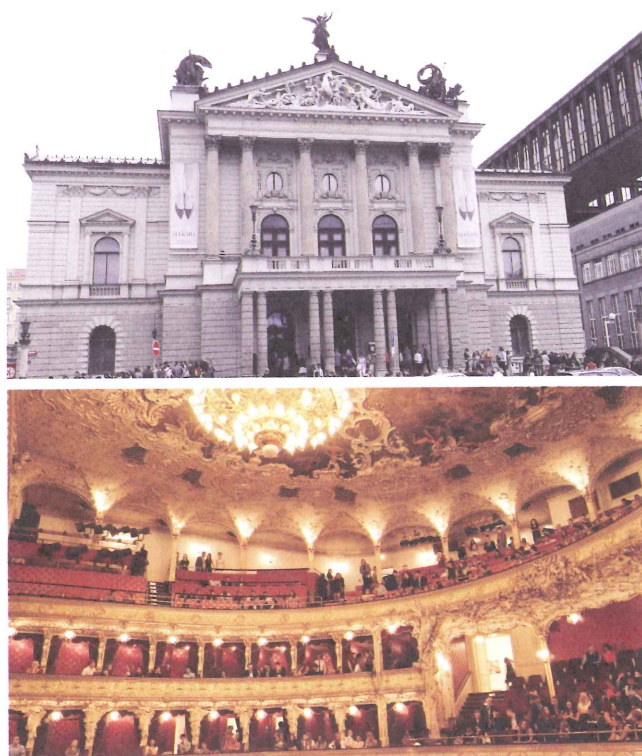


6. 牙を剥くマトリョーシカによる共産主義博物館の案内ポスターとお土産

クラクフの後、チェコのプラハを訪れました。14世紀には神聖ローマ帝国の首都となり「黄金のプラハ」と称された美しい街です。しかし現代に至る歴史は複雑で第一次世界大戦後チェコスロバキヤ共和国が成立しますが、第二次世界大戦でナチス・ドイツによって解体され、戦後はソ連の影響下でチェコスロバキヤ社会主義共和国となり、いわゆる共産党政権下に置かれました。1968年「プラハの春」を迎えますがソ連の軍事介入で潰されます。そして1989年の大規模な民主化、反政府運動の中、共産党政権が倒れます。いわゆる「ビロード革命」が成立し、その後政策の違いからスロバキヤと分離し、1993年チェコ共和国となり現在に至っています。共産党政権下のこの国の状況に関しては、米原万里の「嘘つきアーニヤの真っ赤な真実」(角川文庫)を読むとよくわかります。面白いのでぜひお読みください。民主化運動からわずか二十数年しか経っていませんが、少なくとも一旅行者から見れば、かつての一党独裁の共産主義政権下より豊かになっており、共産主義政権下の権力者による言論統制と富の分配の不平等さは無くなっているように見えます。今のプラハからは当時の市民生活は想像できませんが、ひよんなことから知っ

た小さな「共産主義博物館」はとても興味深く見ることができました。ナチ時代からその後のソ連の衛星国となった共産党政権下での様子などを淡々と展示しているだけですが、それがかえって当時の屈辱的な、悲惨な市民生活を想像させられます。さらにこの博物館のマスコットがロシアの伝統的人形マトリョーシカを風刺した人形で、思わず幾つか買ってしまいました。プラハの美しい街並みと、そこに香る文化の高さは旅行者にとっては心地よいものでした。いつもどこかでオペラ、バレエ、オーケストラの公演があり、私もオペラ、バレエ、マリオネットの公演を見ることができました。この美しく文化の香り豊かな都市がこれからも続くことを願っています。

二つの国を訪問して思ったことは、戦争の残酷さと、いかなる理由であれ他国を武力で侵略してそれを支配する愚かさです。戦争は人の理性を破壊します。侵略によって生じる支配するものと支配されるものとの間に横たわる溝は、いかなる施策をもってしても埋めることはできません。国家間、異民族間の交流を豊かにし、異文化を理解し、異文化を受け入れることの大切さと、それに必要な深い知識と寛容さを育てる教育の重要性を改めて認識した旅でした。



7. プラハ国立オペラ劇場とその内部

地域委員会 静岡だより

「しんどいなあー」

(株)アイピーエス 長山 充裕

冬も本番を迎えて、体調を整えるのがしんどい時期となりましたが、皆さまはどの様にお過ごしですか。

去年は、いろいろと苦労した年でした。積算としても概算物件がかなり多く、概算のレベルによってはかなり手こずっていました。物件によっては、概算でも精算並の精度を要求されることもあり、本当に大変、の一言です。10年以上前を思い返すと、なぜここまで積算作業がめんどくさくなってしまったのか考えさせられます。

2017年も昨年同様にしんどい思いをする事になりそうですが、少しでも変わらないものですかねえ。国では仕事の時間に対する法律も出すようですが、本当に末端まで考えているのか疑問です。もっと中小企業の事を考えたものにしてくれないと、積算業界もいつまでたっても変わらず、残業の多い日を過ごすことになると思いますが、皆さんはどう考えますか？

さて、最後にちょっとだけ自慢しちゃいますが、2017年の大河ドラマ「おんな城主 直虎」が1月から始まりますが、撮影場所が実家の近くなんです。井伊家の菩提寺である龍潭寺（「りょうたんじ」と読みます）もあります。実は自分が中・高校生くらいの頃に親父の手伝いで龍潭寺の部分的な修繕を手伝ったことがあります。特に親父はウグイス張りの廊下を直すために京都まで行って調べていたことを思い出しました。

龍潭寺はお寺そのものよりも庭園の方が有名ですが、近くに来た際は、ぜひ寄ってみてください。



地域委員会 岐阜だより

地域委員会
委員長 加藤 一也

2017年 あけましておめでとうございます。
名古屋駅前周辺は高層ビルが建ち並び、益々建築関係が忙しくなるようです。

地域委員会岐阜の拠点周辺は、大垣市新庁舎建設、岐阜市新庁舎建設、各務原市新庁舎建設、岐阜新県庁の設計が始まり27年度から30年度に掛けて建設ラッシュとなりそうです。

総合設計の話は、平成23年3月11日の東日本大地震（震度7）に始まり今年4月14日の熊本地震（震度7）、10月に鳥取中部地震（震度6弱）と地震が続いたことにより熊本の益城町役場の一部倒壊、熊本郵便教のガラス破損等により岐阜県内でも避難場所に指定してされている建物が倒壊する危険であると判断され、大きな問題となり今期から設計する事になったようだ。

建設関連企業にとってはありがたい話ではあるが、2020年の東京オリンピックに向けて人手が不足する予感がします。まして岐阜と云うところはニア新幹線が2026年開通に向けて県内で3箇所10～12年かけて工事を行う事が決まっている。

地域委員会岐阜としては、来年はアンケートを実施して東濃、中濃、飛騨地域に足をのぼして、活動を広め新規会員の開拓に努めたいと思いますので会員の方々には活発な意見を頂戴したいと思います。9月21日の第2回の勉強会『熊本地震に学ぶ』と題して行った資料を添付します↓



データベース委員会だより

「コストデータ表」活用のご案内

データベース委員会

副委員長 岩田 清逸

今回は、建築コスト管理に興味のある皆さまへ向けてデータベース委員会より「コストデータ表」についてご案内いたします。

が、その前に以下の条件に1つでも該当する方は、この記事は飛ばして読み進み下さい。

- ・いつも作業時間がたっぷりある。
- ・大きな単純ミスもねじ伏せる自信がある。
- ・施主がいくらでも工事費を出してくれる大金持ち。

残念ながらそうではない方(私もそうです)は、どうかしばらくお付き合い下さい。

↓コストデータ表のイメージ

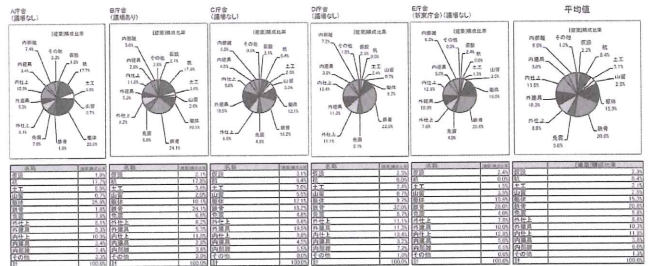
コストデータ表

No.	10-0000		000事務所名古屋支店		000事務所名古屋支店		000事務所名古屋支店		000事務所名古屋支店	
	工種	建築	建築	建築	建築	建築	建築	建築	建築	建築
A	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
B	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
C	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
D	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
E	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
F	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000
	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968	11,968	2.7%	建築費	11,968
	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320	2,320	1.9%	電気設備	2,320
	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680	16,680	1.5%	機械設備	16,680
	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000	469,000	701.20%	その他	469,000
	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000	490,000	100.0%	合計	490,000

■「コストデータ表」を活用するメリット

- 1、数量、金額チェックの効率化が可能
 - ・類似データとの科目別㎡単価の対比により、チェックが必要な部分の発見に役立ちます。
- 2、概算業務の効率化が可能。
 - ・条件別の㎡単価、歩掛が簡単に取り出せます。
- 3、コストバランスチェックが可能
 - ・部位別、工種別の金額構成比率の類似事例対比により調整の手掛かり発見に役立ちます。
- 4、工事費を推定することが可能
 - ・近似した事例データから特殊条件を除く概ねの工事費予想ができます。ただし時期、地域の物価補正は必要です。
- 5、説得力のある説明資料の作成が可能
 - ・類似事例から必要な数値の抜き出しや対比が容易です。

↓対比グラフイメージ



■「コストデータ表」のデメリット

- 1、データ表の部位別金額の集計が面倒くさい。
- 2、物件数が少ない場合、上記1～5のメリットが限定的なものとなる。

■「コストデータ表」を作成するコツ

- 1、細かいことは気にせず、できるところを作る。
 - 時間がかかると長続きしません。とにかく作成に慣れることが第一です。
- 2、作成を外部委託する。
 - ルールが分かれば単純作業の部分が多く、費用はかかりますが短期間で数を稼ぐには有効です。(弊社は15年前にこれを行いました)

■「コストデータ表」入力方法

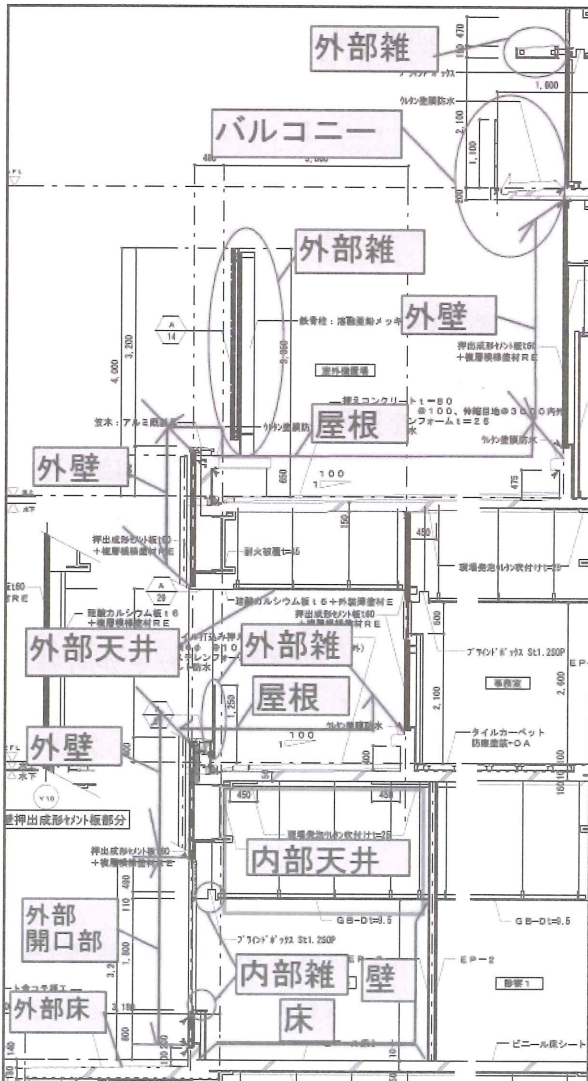
1、基本は内訳書の科目金額を入力しますが、部位別金額部分は再集計が必要です。

↓部位別入力部分

部位別	項目	金額	単価	割合
外装部位別	屋根	5,980	2,578	0.6%
	床	375	162	0.0%
	壁	48,640	20,966	4.7%
	天井	0		
	開口部	121,050	52,177	11.8%
（外装計）		180,990	78,013	17.6%
内装部位別	床	26,500	11,422	2.6%
	壁	45,240	19,500	4.4%
	天井	8,460	3,647	0.8%
	開口部	23,550	10,151	2.3%
	間仕切	0		
（内装計）		157,050	67,694	15.3%

全周をまわるバルコニーなどは、項目を起こして金額を分けておくことで概算用複合単価データの利用がしやすくなります。

↓部位別区分のイメージ



土工事、躯体の単価歩掛（例：土工事金額÷根切

総土量m³)は、企画構想～基本計画時点の概算で概略数量にかける単価として利用できます。

↓土工躯体入力部分

積算区分	（組積算）	対象部位の合計数量を記入	主要項目	数量	単位	単価歩掛	数量歩掛
土工内訳	27,720	11,948	2.7%	11,948	m ³	11,948	—
共通仮設	15,680	6,759	1.5%	6,759	m ²	6,759	—
仮設小計	43,400	18,707	4.2%				
土工	9,595	4,136	0.9%	4,136	m ³	4,422	7.00
山留切込+掃き	27,295	11,908	2.7%	11,908	m ²	38,049	0.56
コンクリート	14,240	6,262	1.4%	6,262	m ³	10,924	0.56
型枠	10,950						1.07
鉄筋	30,490						0.08
鉄骨	136,240						0.19
デッキプレート	10,440						1.00
耐火保護	17,800						1.92
小計	257,050	110,797	25.0%				

類似構造条件の構造歩掛は、基本概算、実施積算時の数量の対比チェックにも使用できます。

↓躯体歩掛入力部分

項目	構造歩掛		備考	材料(外注)
	数量(m ³ ,m ² ,kg)	延床面積当り		
Don	1278.0	0.551	—	9,000
型枠	4800.0	2.069	3.756 鉄骨共	3,700
鉄筋	180.9			110,000
鉄骨	371.2			193,000

■物価補正について

単価を概算に使用の際は、積算時期から現在までの物価指数変動率を乗じて補正します。

↓物価指数 (出典：建設物価 2017年1月 建設物価調査会) 毎月更新

⑤ 事務所 RC				⑥ 事務所 S			
工事原価	純工事費	建築	設備	工事原価	純工事費	建築	設備
100.8	100.7	99.0	104.4	100.4	100.4	98.9	104.1
102.4	102.5	101.6	104.5	99.4	99.4	97.4	104.2
105.3	105.6	105.1	106.5	101.6	101.7	99.8	106.4
111.8	112.2	113.5	109.5	107.7	107.9	107.3	109.5
114.4	114.9	116.8	110.9	111.0	111.3	111.5	110.8
114.1	114.6	116.4	110.6	110.6	110.9	111.1	110.5
113.3	113.8	115.3	110.4	110.3	110.6	110.6	110.3
113.2	113.7	115.3	110.2	110.2	110.5	110.6	110.1
113.0	113.5	115.0	110.3	109.8	110.1	110.1	110.2
112.8	113.2	114.6	110.1	109.4	109.6	109.5	110.0
112.7	113.1	114.5	110.0	109.2	109.4	109.2	109.9
112.8	113.3	114.8	110.1	109.2	109.5	109.3	110.0
112.4	112.9	114.2	109.9	109.1	109.4	109.2	109.8
112.4	112.8	114.2	109.9	109.1	109.4	109.2	109.8
112.3	112.7	114.0	109.8	108.7	108.9	108.7	109.6
112.1	112.5	113.7	109.8	108.6	108.8	108.4	109.6
p 112.1	p 112.5	p 113.7	p 109.8	p 108.6	p 108.8	p 108.4	p 109.6
p 112.1	p 112.5	p 113.7	p 109.8	p 108.6	p 108.8	p 108.4	p 109.6

■最後に

作成したコストデータ表は、あなたに高精度の概算の算出を約束してくれるはずです。

↓コストデータ表フォーマット保存場所



ささしま24ライブグローバルゲート新築工事 現場見学会報告

株式会社縁 佐藤 珠美
千谷 遥
杉山 智紀

平成 28 年 7 月 11 日 (月) 13:00 ~ 15:00
ささしまライブ駅すぐ近くにあり、ささしま 24 ライブグローバルゲート新築工事の現場見学会が行われました。

■建物概要

地域・地区指定 商業地域・防火地域

建物用途

事務所・ホテル・物販・飲食・駐車場

ウエスト棟：事務所・ホテル・コンファレンス

イースト棟：事務所

低層棟：物販・飲食

主体構造 S造

ウエスト棟：地上 37 階 PH 2 階 地下 2 階

イースト棟：地上 18 階 地下 2 階

低層棟：地上 6 階 地下 2 階

敷地面積 :17,267 m²

建築面積 :約 11,300 m²

延床面積 :約 15,700 m²

建物高さ ウェスト棟 約 170m

イースト棟 約 90m



■当日の状況

- ・ウエスト棟 鉄骨・外装完成、内装工事中
- ・イースト棟 鉄骨・外装完成、内装半分完成
- ・低層棟 付帯鉄骨建方中、内外装工事中
- ・全体 72%程の完成度

■現地特性

当地域はささしまライブ駅と愛知大学の近くに位置しており、当建物を含めた3つの建物を屋根付きの渡り廊下で繋ぐという計画があります。また、名古屋駅の南側に位置しており、駅周辺では8番目に高い建物でした。

■現場見学

はじめに、現場事務所で総括所長の沢井様と作業所長の吉口様より建物概要と作業状況の説明を受けました。

当建物はウエスト棟、イースト棟、低層棟の3つの棟に分れており、それぞれオフィス・ホテル、オフィス、物販・飲食を主用途としています。

外観と緑化を意識した建物で、外観は付け柱を付け、縦のラインを強調し、低層棟の屋上に緑化が施される計画です。

また、柱や外壁の窓廻りに現在特許申請中の技術を使用することで、外壁のスリットから外気を取り込み、夏には涼しく、冬には暖かくなるよう工夫がなされていました。

その後、ウエスト棟の28階と18階を見学させていただきました。

<ウエスト棟 28 階 >

内装仕上施工中の状態であり、耐火被覆や断熱材、設備ダクトを直接見る事ができました。

耐火被覆(ロックウール)が吹かれている柱・梁に赤や青のピンを付けていました。そのピンが

埋まる事により、20mmなど、規定の厚さまで耐火被覆や断熱材を吹く事が出来ているという印になっていました。

鉄骨にダクトを通す為の穴が空けられたり、遮音間仕切など将来対応の為の間仕切の目印となる金物を取り付いていたりと、図面に載っておらず、現場でしか見られない物を見る事が出来ました。

<ウエスト棟 18階>

システム天井が取り付けられており、OAフロアを敷くための墨出しがされていました。また、床が置かれる前なので窓廻りの額縁の全体を見る事が出来ました。天井から床へという作業工程も見ることが出来ました。

他にも、外壁～スラブ間の層間塞ぎのロックウールや、建具上部のハット目地など、普段図面上でよく目にし、積算している物も実際に見ることが出来ました。

最後に、沢井総括所長から、現場で意識されている生産性の向上のための5点についてお話をいただきました。

- ・状況を考慮した工事計画
- ・相手への思いやり
- ・プロ意識
- ・シンプルに
- ・若手の育成

という5点が重要であるという事でした。状況を考慮した計画や、相手への思いやりなど、現場での作業だけでなく普段行っている積算業務にも通じる所が多々あると感じました。

今回、現場見学をして、普段積算している項目がどのように施工されているかを実際に見る事が出来、これまで図面上でのみ理解していた部分に対してより理解が深まり、今までと比べ、より正確にイメージが出来る様になりました。今回学んだ事を今後の積算業務に活かしていきたいと思います。



[ささしまライブ24にはグローバルゲートをはじめ八つの施設があります。名古屋駅から歩か、あおなみ線のささしまライブ駅で降りて歩く二つのルートがあります。是非一度行ってみてください]



[ささしまライブから名古屋駅を望む]

賛助会員名簿

東海北陸支部


会社名	住所	電話	ホームページ
TOMOデータサービス(株)	大阪市北区天神橋 7-5-23	06-6351-8452	http://www.tomodata.co.jp/
(株)伊藤建築設計事務所	名古屋市中区丸の内 1-15-15	052-222-8611	http://www.ito-aei.co.jp/
(株)キング鈴木商会	名古屋市中村区野田町字中深 18-3	052-412-4112	http://www.kingsuzui.co.jp/
(株)末永製作所	岐阜県揖斐郡揖斐川町房島 1822-3	0585-22-0778	http://www.suenaga-ss.co.jp/
協栄産業(株) 建設ソリューション事業部	東京都大田区平和島 6-1-1 TRC マラックスビル	03-3767-2345	https://www.kyoei.co.jp/fks/
(株)建築設計センター	名古屋市中区名駅 2-23-14 VIA 141-211 号	052-581-8971	http://www.kscenter.jp/
全国建設産業教育訓練協会 職業訓練法人 教育訓練課	富士宮市根原 492-8	0544-52-0968	http://www.fuji-kkc.ac.jp/
株式会社 桜屋	名古屋市中区大須 1-2-14	052-221-7481	

建築積算士補認定校

東海北陸支部

校名	学部・学科	所在地	ホームページ
学校法人 愛知産業大学	造形学部 建築学科	岡崎市岡町原山 12-5	http://asu-g.net/univ/
椋山女学園大学	生活化学部 生活環境デザイン学科	名古屋市千種区星が丘元町 71-3	http://www.sugiyama-u.ac.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 熱田校	建築科	名古屋市熱田区花表町 19-14	http://tpchs.denpa.jp/
学校法人電波学園 東海工業専門学校 金山校	建築科	名古屋市中区金山二丁目 7-19	http://www.tpc.ac.jp/
岐阜県立国際たくみアカデミー 職業能力開発短期大学校	建築科	美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3545-3	http://www.takumi.ac.jp/
愛知県立碧南工業高等学校	建築科	碧南市丸山町三丁目 10	http://www.hekinan-th.aichi-c.ed.jp/
名古屋市立工芸高等学校	建築システム科	名古屋市東区芳野 2-7-51	http://www.kogei-th.nagoya-c.ed.jp/
静岡県立浜松工業高等学校	建築科	浜松市北区初生町 1150	http://www.hamako-ths.ed.jp/
静岡県立島田工業高等学校	建築科	島田市阿知ヶ谷 201	http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimada-th/home.nsf/



 公益社団法人
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事 小野 徹郎
支部長


事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階
TEL (052)264-0661 FAX (052)264-0662
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp
URL http://bsi-th.052e.com/

 WE BUILD THE FUTURE

代表取締役
内田 宏康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415
携帯 TEL.090-7956-5813 E-mail magari@ips-r.co.jp

 株式会社 浦野設計
URANO ARCHITECTS & ENGINEERS

代表取締役社長
浦野 廣高
技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区八筋町90番地
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712
URL http://www.urano-s.co.jp/
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp

東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582

ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification UKAS MANAGEMENT SYSTEMS ISO 9001 GEO

再生紙使用

建築・積算・見積
有限会社 エスム積算
(公社)日本建築積算協会会員

代表取締役 杉山 祐紀

本社 〒503-0944
岐阜県大垣市横曾根4丁目13番地
TEL (0584) 89-2550 FAX (0584) 89-7841
E-mail y_sugiyama@lily.sannet.ne.jp

東京事務所 〒105-0014
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階
TEL (03) 3452-7164

 Enishi C.M Office

えにし
株式会社 縁
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長
古川 元
FURUKAWA GEN
積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063
携帯 080-8370-6474
E-mail:g-furukawa@enishi-cm.co.jp
URL: http://www.enishi-cm.co.jp/

 川辺建設株式会社

創業69周年

川辺一級建築士事務所

本社 名古屋北区清水二丁目4番10号(川辺ビル)
〒462-0844 TEL (052) 931-0181
FAX (052) 931-0187
e-mail kawabe-k@gid.mmtr.or.jp
URL http://www.gid.mmtr.or.jp/~kawabe-k

代表取締役社長
川辺 清次
一級建築士、設備設計一級建築士
一級建築施工管理技士、宅建取引主任

古紙 100%再生紙

 国豊積算株式会社

専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945
支所：東京・大阪・福岡・札幌
URL http://www.kunitoyo-sekisan.com

株式会社 研谷建築積算事務所

代表取締役 会長 とき 研 谷 智彦
代表取締役 社長 研 谷 将紀

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町 6-11-2
TEL (052) 859-0686
FAX (052) 859-0687

静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 45-5
TEL (0557) 68-5842
FAX (0557) 68-5844



株式会社 中野積算

名古屋支社

支社長 位田 勝彦

KATSUHIKO INDEN

建築コスト管理士 公益社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目 29-10 錦通K Dビル
支社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960
E-mail : k-inden@nakano-sekisan.co.jp
本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-13-7 TEL 03(3392)6121
支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

株式会社 林積算

代表取締役 林 進

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階
TEL 052-262-3781
FAX 052-262-3783
E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp



コストエンジニアリング&コンサルタント

株式会社 二葉積算

名古屋支社

取締役支社長

中川 英人

NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-17-30(河越ビル)
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp
URL http://www.futaba-sekisan.co.jp
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



株式会社 棟 MUNE 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫

Tetsuo Torii

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階
TEL : 052-602-9525 (代) FAX : 052-602-9526
E-mail : aamuneop@mvg.biglobe.ne.jp (代)
tetsuo.torii@mune-kenchiku.co.jp
URL : http://www.mune-kenchiku.co.jp

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 小田 義彦

常務取締役 渡邊 國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)
http://www.ito-aei.co.jp





<p>BIM対応 建築積算システム</p> <p>FKS</p>	<p>次世代見積書作成システム</p> <p>KYOEI COMPASS <small>Second Stage</small></p>
<p>マンション大規模修繕・改修専用 リニューアル用積算ソフト</p> <p>RSS</p>	<p>国土交通省ガイドライン準拠 長期修繕計画表作成ソフト</p> <p>KLC</p>

協栄産業株式会社 関西ITC事業部 関西営業課
〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24
【TEL】06-6451-9781
【FAX】06-6451-9810
【URL】<http://www.kyoei.co.jp/fks>

UL ISO9001 20001686QM8
ISO14001 20001674UM
ISO27001 200016861SMS

TDS

TOMOデータサービス株式会社

代表取締役
今岡朝和

本社 〒531-0041 大阪府北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル
TEL (06) 6351-8452 FAX (06) 6351-8925
E-mail : imaoka@tomodata.co.jp
<http://www.tomodata.co.jp>

東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル
TEL (03) 5816-7080 FAX (03) 5816-7081

北陸支所会員から
新年のご挨拶申し上げます

地区	会社名	役職	氏名	TEL
富山地区	(株)小倉建築設計事務所	代表取締役所長	小倉 修	0765-54-1616
	(株)押田建築設計事務所	取締役設計室長	堀田 富士雄	076-492-1225
	(株)鈴木一級建築士事務所	代表取締役社長	鈴木 保二	076-421-9118
	(株)三四五建築研究所	常務取締役	諏訪 淳	076-433-0345
	明峰積算事務所	代表	宮西 繁	076-425-7330
	(有)富山積算センター	代表取締役	笠谷 正	0766-22-3366
石川地区	(有)高島建築積算事務所	代表取締役	高島 義昭	0762-33-1330
			三原田辰男	076-425-7330
	(有)クボタ積算室	代表取締役	窪田 和則	076-239-3471
	大谷建築積算事務所	代表	大谷 政信	076-225-3927
	RSアーキー級建築士事務所	代表取締役	四辻 靖信	076-248-8123
	ヤマニシ建積プランニング	代表	山西 栄一	0761-44-2844

民間(旧四会)連合協定

工事請負契約約款の解説 第5版

◎編著/民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会

定価3,888円(税込)

7年ぶりの大幅な改訂の解説書! 平成28年3月改正 講習会使用テキスト 新たにQ&A(工事請負契約約款書類の利用について)を掲載!

民間(旧四会)連合協定

小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約約款 及びリフォームの工事請負契約約款の解説

◎編著/民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会

定価2,808円(税込)

新たな解説書! 適格な工事請負契約の締結に役立つことを目指した解説書!

平成27年版

公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価8,964円(税込)

標準単価積算基準の改定! 参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!

平成27年基準

公共建築工事積算基準の解説 [建築工事編]・[設備工事編]

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

各定価10,800円(税込)

「積算基準」「積算基準等資料」の最新の改定内容を反映した最新版!

平成23年版

建築数量積算基準・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所/(一社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価4,320円(税込)

建築工事の積算業務に携わる方々に活用され、建築工事の公式な契約の基盤となる必携の書!

建築紛争の基礎知識

◎編著/竹川忠芳

定価2,376円(税込)

建築紛争にかかわる法律家・建築士の方へ



株式会社 大成出版社

〒156-0042 東京都世田谷区羽根木 1-7-11

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

ホームページ <http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

出荷本数 9000 本以上の実績！ 明細書作成の超決定版！

TDS [見積]

品名	数量	単位	標準単価	見積単価	仕入単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価
1 下地モルタル	1	㎡	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
2 下地モルタル	1	㎡	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
3 下地モルタル	1	㎡	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

お客様のご要望にお応えした、超簡単仕上拾いソフト！

TDS [仕上]

品名	数量	単位	標準単価	見積単価	仕入単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価
1 下地モルタル	1	㎡	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
2 下地モルタル	1	㎡	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
3 下地モルタル	1	㎡	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

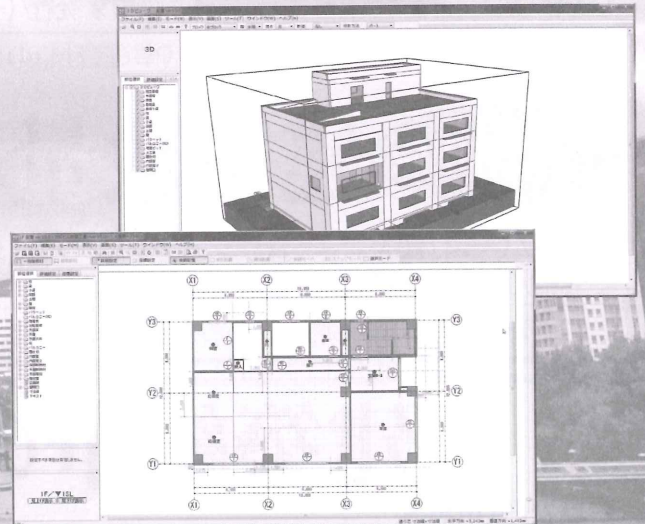
面積計算必要なし！ 図面計測の効率化！

TDS [イメージ計測]

品名	数量	単位	標準単価	見積単価	仕入単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価	仕入税別単価
1 下地モルタル	0.09	㎡	24.21	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16
2 下地モルタル	0.09	㎡	24.21	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16
3 下地モルタル	0.09	㎡	24.21	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16	12.16

どんな建物にも対応！

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は株式会社積算サーベイ社の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

URL: <http://www.tomodata.co.jp> E-Mail: info@tomodata.co.jp

大阪本社：〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23
東京事務所：〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7

渋谷ビル TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925
龍田ビル TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、国内外ともに良いこと悪いこと本当に様々なことがあった年でした。新しい年が平和で幸せな年になることを願うばかりです。

さて、支部報「東海北陸」第66号では、ご愛読いただいている皆様にとって少しでもお役に立つ記事を提供しようとの思いから、建築積算の専門的情報をいくつか掲載させていただきました。次回からも引き続き専門的情報を発信していきたいと考えています。

また、本部・支部や各委員会からの報告記事の他にも、学校教育における建築積算への取り組みについてのアンケート結果、建築積算を授業に取り入れている学校の紹介、更には小野支部長の東ヨーロッパ訪問記等々盛りだくさんの内容となっています。寄稿いただきました皆様のおかげで充実した支部報が出来上がったと思っています。

今後ともご意見ご要望をどしどしお寄せ下さい。また、皆様からの寄稿もお待ちしております。

それでは引き続き、より良い支部報を提供できますよう努力してまいりますので宜しくお願い致します。

『支部報』原稿募集のお願い

会員の皆様ますますのご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は支部報「東海北陸」を御愛読いただきまして厚くお礼申し上げます。

当支部では、支部報の発行を年2回行っておりますが、まだまだ一般読者の皆様から寄せられる記事が少ないのが実状です。皆様が疑問に思っている事、支部への要望、エッセイなど何でも結構ですので、どしどしお寄せ下さい。皆様と共に作る支部報をめざして！

※尚、出稿していただいた内容は広報委員会により掲載有無判断させていただきますので誠に恐縮ではございますが、何とぞ事情を御賢察くださいませよろしくお取り計らいのほどお願い申し上げます。

◆掲載内容 自由です(読者からのコーナー)

◆掲載形式 A4版(半ページ又は1ページ)

※半ページ 880文字

◆原稿締切 随時募集

◆原稿方法 ワード・エクセルのいずれかのデータ

写真等の画像データ(JPEG)

◆送り先 〒460-0008

名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル2階

公益社団法人 日本建築積算協会

東海北陸支部 事務局

TEL052-264-0661 FAX052-264-0662

E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp

広報委員 堀田 淳二

加藤 一也

後藤 学

都築 修

長山 充裕

桑名 利男

高嶋 義昭

支部報 『東海北陸』 No.66

発行 公益社団法人 日本建築積算協会
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26

昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661(代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2017年2月 吉日

建設コストアプリケーションの協栄産業

建築

積算

見積

BIM

設備

公共事業

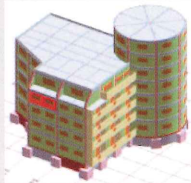
あなたの業務にあったアプリケーションをご提案します!

建築 積算 RC数量積算システム

BIM対応

FKS RC

伏図データから3次元へ自動展開
複雑な建物形状にも柔軟に対応



3Dモード

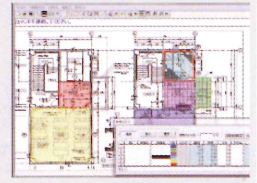
- 3Dモードにより建具や増打、部位の高低差を視覚的に確認し、修正も行えます
- セットバックやデッキ、壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- 根切図を自動で作成し、土工・地業数量を算出、杭工事に対応

建築 積算 仕上数量積算システム

BIM対応

FKS FN

PDFの図面から部屋形状を作成
長さ・面積・箇所を簡単計測



PDF積算

- 部屋で拾った材料は部位別（一次集計）、科目別（二次集計）に自動集計
- 設計変更に対応している為、変更後の数量差分もすぐに印刷可能
- 新築はもちろん、改修工事や概算にも利用できます

建築 見積 見積書作成システム

KYOEI COMPASS *Second Stage*

単価自動値入や下見積（業者見積比較）機能を搭載!
Excel感覚ですぐに使えます

- 数量、単価の割掛け機能や、見積金額の総額を固定した逆シミュレーション機能で、コスト調整を容易に実現
- 複数棟の見積書も一括値入機能で早く、ミス無く対応できます
- Excelデータの入出力機能も充実

設備 見積 設備見積書作成システム

K-ESCORT *Second Stage*

総合建設業様向けに新たに開発!
建設会社の視点に立った便利な機能を搭載!

- 各種資材分類別に数量・金額によるシミュレーションが行えます
- 単価や材料マスタは、支店毎/世代毎に管理され、複数保持が可能
- 工費/継手・付属品類/消耗品類などの設備一式物を、計算処理によって自動発生

設備 積算 機械設備、電気設備対応

設備積算システム
みつもりくん PRO-SecondStage

PDF図面に最適なエンジンを搭載!
拾出し作業がサクサク・軽快!



- ファイル容量の大きなPDF図面でも高速表示
画面に何枚も同時表示可能で効率アップ
- 流体と管理を結び付け、流体指定で材料が決まる
土工事は埋設施工を選んで、掘削深さを入れるだけの簡単操作

公共工事 積算 建築、機械設備、電気設備対応

公共営繕工事専用積算システム
みつもりくん ie

公共工事の入札における予定価格の
事後公表の対応はお済ですか?!



- 公示用設計書（PDF、Excel等）の取り込み機能で
工事内訳書を別紙明細まで一気に変換!
- 各入札エリアに合わせた複合単価を作成する機能を搭載
ボタン1つで資材へ自動値入が可能

現場検査 建築、機械設備、電気設備対応

タブレット端末を利用した現場検査ツール

タブレット端末に取り込まれた図面を基に
現場の検査業務を支援します!



- 現場での仕上、鉄筋、設備等の検査業務に利用可能
- 重い図面を持ち運ぶ必要なし
紙の検査用紙記入と同じような感覚で、タブレットに入力が可能
- 現場での検査後、各協力会社別に振り分けていた帳票が、
管理用パソコンで簡単印刷（PDF出力）

積算といえば協栄産業におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS 検索

クリック!

「積算 FKS」で検索してください



協栄産業株式会社 ソリューション第二事業部 営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島 6-1-1 TRC アネックスビル
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島 3-14-24 阪神ダイヤビルディング
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810